



H30スローガン
「協働」



平成31年 3月14日(木)
発行所: 中部教育事務所



授業づくりのメッセージ 「県立高校入試問題」!

今年度も、3月5日(火)・6日(水)に「県立高等学校一般入学者選抜学力検査」が実施されました。各中学校では、この日を迎えるまでに、一人一人に寄り添った進路指導、入試に係る協議や提出書類の作成等に多くの労力を注がれたことと察します。また、小学校でも、小中連携の下に育った子供たちがどのような結果を出されるか期待と不安でいっぱいのことと思います。そんな中、先日、新聞等に入試問題が掲載されていました。入試問題は、単に知識を問うだけでなく、思考力を見る問題も含まれており、日々の授業づくりへのメッセージが込められているものとなっていました。

平成31年度 県立高等学校一般入学者選抜学力検査問題 【国語】

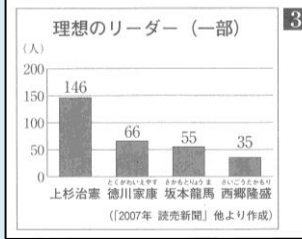
問題

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

和美さんのクラスでは、「郷土の偉人」について調べて発表することになりました。次は、和美さんが調べて作成した上杉治憲(鷹山)についての(ノート)と(発表原稿)および(フリップ)(提示する資料)です。
※(ノート)は割愛、(フリップ)は一部掲載。
フリップ

3 さらに、治憲は、現代でも、全国の自治体の首長を対象にしたアンケートで、理想のリーダーとして名前が挙げられています。

最後に、治憲は、海外の人にも尊敬されていたことを紹介します。第三十五代アメリカ合衆国大統領のジョン・F・ケネディが、最も尊敬する日本人として治憲の名前を挙げています。



話し合いの様子

広志 フリップの提示の仕方について、述べてもいいですか。

例えば、フリップ2を提示するときに、「フリップを見て下さい。これは、当時の米沢織を作る様子です。」などの声かけをしてからフリップを提示すると、さらにいい発表になると思います。

真樹 フリップ3についての発表原稿ですが、グラフから分かることを入れると、感想の部分の「誇りに思いました。」という内容につながって、より説得力が増すと思います。

問五 和美さんは、広志さんと真樹さんのアドバイスに従って、フリップ3についての発表原稿の□で囲った段落を書き改めました。その発表原稿を八十文字以内で書きなさい。ただし、書き出しは、広志さんのアドバイスを参考にして書くこと。

解答

フリップを見て下さい。これは、全国の自治体の首長を対象にしたアンケートの結果です。治憲は理想のリーダーとして、他の人物と比べて最も多く名前が挙げられています。

【問題のねらい】

「郷土の偉人」について調べたことをまとめて発表する場面を通して、目的や状況に応じて、資料を効果的に活用して話す力、論理の展開を工夫し、資料を適切に引用する力、説明や具体例を加えて説得力のある文章を書く力等の思考力・判断力・表現力をみる。

【授業改善の例】 ～発表(話し合い)の場面～

授業のねらいにもとづいて発表(話し合い)活動を設定する。

○ 発表で使用する資料から読み取れることを根拠にして、伝えたいことを整理して伝える。



○ 相手が伝えたいこと(主張)や裏付けとなる根拠が正しいかを捉えながら聞くことができる。

発表(話し合い)活動の振り返りの場面を設定する。

○ 個人、グループでの振り返りを行い、学んだこと(気づき等)の再確認をする。

☆ 上記のように、県立高校入試問題は小・中学校の9年間の授業で身に付けた力をみるものとなっています。学年末の多忙な時期とは思いますが、入試問題に目を通し、日々の授業づくりの参考にさせていただければ、と思います。下学年での「学びの確認」として、授業の教材、単元末の確認テスト等に活用することもできます。積極的に活用してみてください。